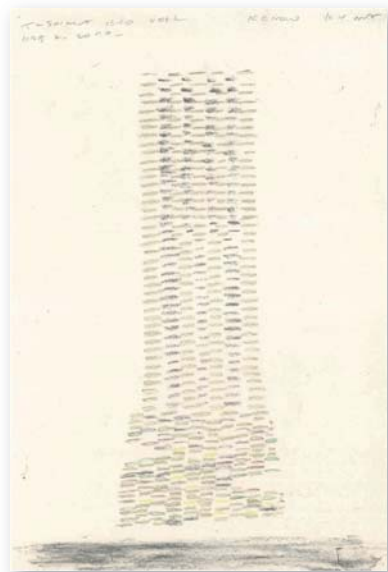


New Toshima City Office

Vol.2

# 豊島区新庁舎 レポート

ななまるがご案内!



R E P O R T

# 区民のみなさんにかかれた新庁舎をめざして



新庁舎が入る南池袋二丁目A地区市街地再開発建物の起工式が平成24年2月2日に行なわれ、新築工事がスタートしました。

新庁舎は質の高い区民サービスを提供する拠点として、また、区民生活の安全を守る防災の拠点として機能するとともに、文化創造都市、環境都市、福祉増進都市、生涯健康都市、教育都市のシンボルとして将来の都市づくりの先導役を果たします。

この冊子で新庁舎整備の進行状況や施設内容等を完成までの間、数回にわたって紹介していきます。

文化創造

環境

防災

安全・安心な文化都市としま

生涯健康

福祉増進

教育



ななまるが

コンシェルジュとなって  
新庁舎をご案内します

豊島区広報イメージキャラクター「としま ななまる」

豊島区制施行70周年を記念して誕生したキャラクターです。ふくろうの姿かたちをした謎の生き物。

※表紙：隈研吾氏による外観のイメージスケッチ

※本冊子で使用している完成予想図等は、現時点でのイメージで、今後変更する可能性があります。

※本冊子 Vol.2 は、Vol.1（平成24年7月発行）の内容に新たな項目を追加して、再編集したものです。

### 窓口サービスゾーン

..... P4・P6

待たない!  
迷わない!  
親切な窓口に!

### 事務室ゾーン

..... P8

開放的な執務室で  
業務の能率化を!

### エントランス・区民交流ゾーン

..... P2・P3

人と情報が  
活発に行き交う場を  
めざして!

### 災害対策ゾーン

..... P7

安全・安心の司令塔!  
防災拠点機能を強化!

### 区議会ゾーン

..... P9

区民に開かれた  
身近な議会を!  
傍聴スペース・機能を  
充実!

### 環境対策を先導する新庁舎

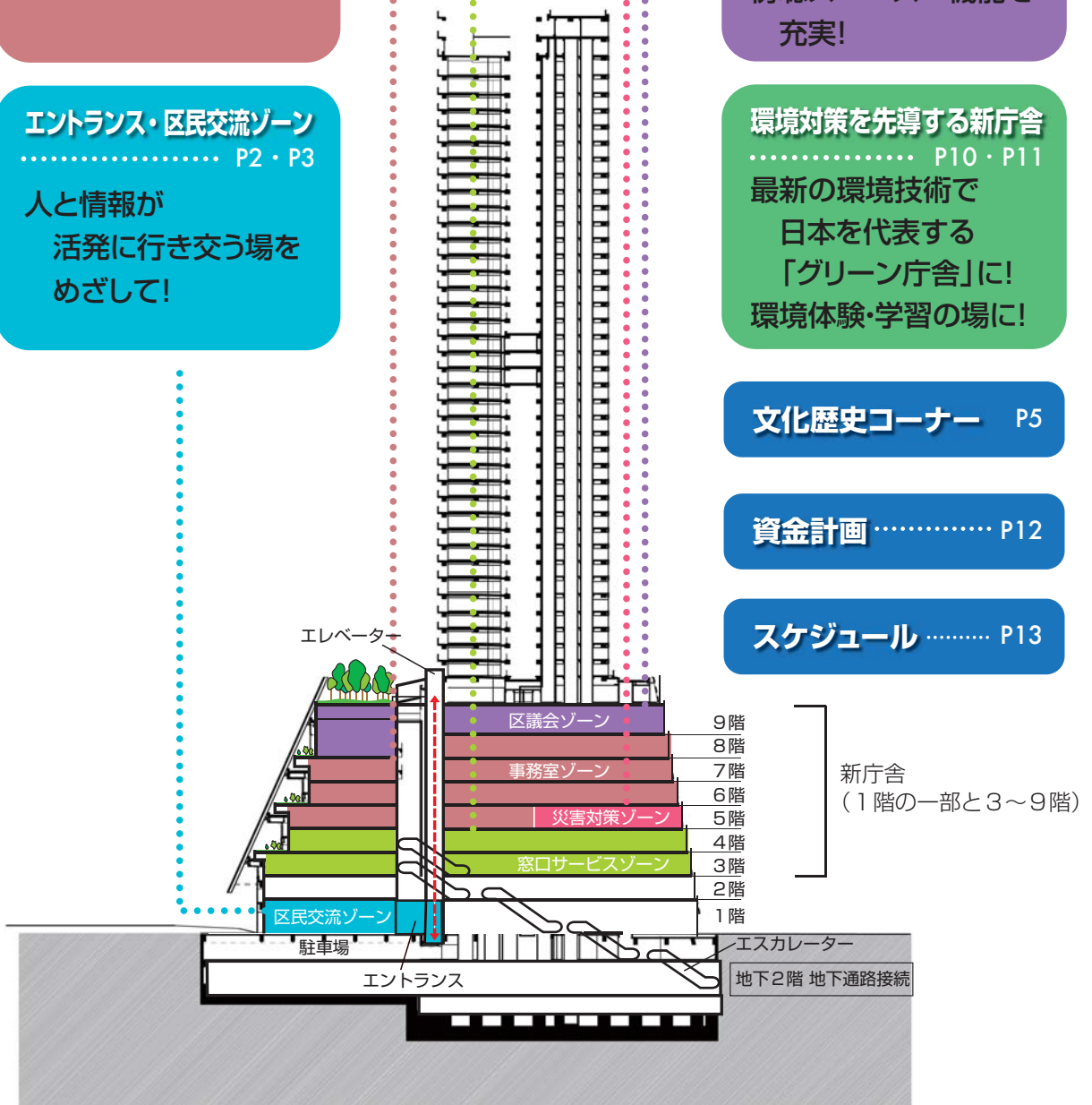
..... P10・P11

最新の環境技術で  
日本を代表する  
「グリーン庁舎」に!  
環境体験・学習の場に!

### 文化歴史コーナー P5

### 資金計画 ..... P12

### スケジュール ..... P13





# エントランス 1F



## あらゆる方向からの来庁が可能ですよ!

新庁舎は全方向からのアプローチが可能のように、入口を4か所設けています。また、北東角に東京メトロ有楽町線「東池袋駅」と直結する地下通路を整備します。

どの方向から来庁しても、建物中央の「アトリウム」に誘導されます。アトリウムには区役所総合案内を設置し、来庁されたみなさんの用件を伺い、目的の窓口に迷わずに行くことができるよう、適切な案内・誘導を行ないます。

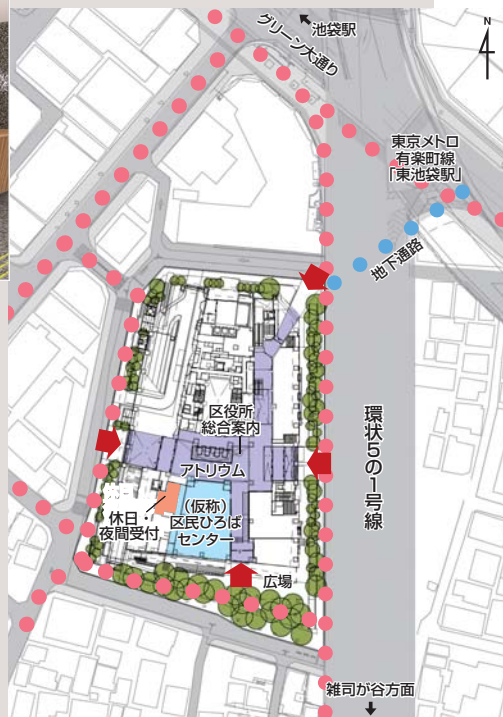
さらに、わかりやすいサインや音声案内のほか、イベント情報などをお知らせする電子掲示板も整備し、多様な情報手段による案内を実現します。



## アトリウム

アトリウムは1階から9階までの吹き抜け空間となっています。

右側には、区役所総合案内、エレベーターホール、左側には（仮称）区民ひろばセンターの入口が見えます。奥には休日・夜間受付が設置されます。



# 区民交流ゾーン 1F



さまざまなイベントや行事に活用されて交流が深まりそうですね!

様々な人の交流が図れ、情報が活発に行き交う場（[仮称] 区民ひろばセンター）をつくれます。



◀区民ひろばセンターのイメージ

木の素材を生かしたインテリアでまとめられています。屋外の広場や緑を見ることが出来ます。

## 区民ひろばセンター

区の行事、会議の利用のほか、展示・発表会、ミニコンサートなど多様な区民活動にも活用できます。

フロアの一部には埋め込み式の舞台を設置します。



▲発表会開催時のイメージ



◀災害時の利用イメージ

災害時には、被災情報、安否情報の提供や生活相談、貸付など各種相談窓口の開設場所として利用します。

# 窓口サービスゾーン **3F**

## 総合窓口



短時間で用件を済ませることが  
大切です!

ワンフロアを広く確保し、区民利用が多い申請や届出の窓口を集約するとともに、ITを積極的に活用し、効率的に用件を済ませることができる、便利な窓口を実現します。

引越しなどに伴って必要となる複数の手続きを、ひとつの窓口で短時間かつ効率よく済ませることができる総合窓口を設置し、親切でおもてなしの心にあふれたサービスを提供します。



待合スペースも  
ゆったりと  
快適になりますね!





来庁者のみなさんが  
文化や歴史にふれあえる  
コーナーもありますよ



区が所蔵する豊島区由来  
の美術・工芸品を身近に鑑  
賞できるスペースを随所に  
配置します。



4階、6階、8階の庁舎フロア  
南側には、区民のみなさんが  
緑に親しめる屋外テラスも  
あります



# 窓口サービスゾーン

4F

## 福祉総合フロア



様々な相談がひとつのフロアで  
できることは便利ですね!

子育てや福祉に関する課をワンフロアに配置し、子どもから高齢者までのライフステージに応じた様々な相談や手続きが連携してできる福祉総合フロアを実現します。



用件に応じた窓口を案内するフロアマネージャーやプライバシーに配慮した相談ブースのほか、キッズコーナーや授乳室も用意し、どなたでも安心して相談などができるフロアとします。

また、区が行なっている相談のほか、関連団体（9土業）が行なう法律、税務、街づくりなどの日常生活に関する相談コーナーも常設します。



眺めのいいラウンジで  
ティーブレイク!

### ラウンジスペース

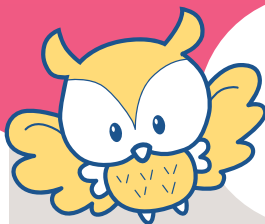
待合と屋外テラスに面して来庁者が憩えるラウンジスペースを配置します。

ラウンジスペースは障害福祉サービス事業者が運営し、障害者等が制作した作品の展示や販売も行なう予定です。





# 災害対策ゾーン 5F



情報の一元化で迅速な初期対応や区民への情報提供が可能になります

平常時と非常時とで空間を効率的に活用し、発災時に、即時に災害対策の中核として機能が果たせるよう整備します。

## 災害対策センター

防災課専用室及び指令情報室などで構成する、災害対策センターを配置し、平常時における防災対策の強化、防災啓発の向上等を図るとともに、災害時には即座に災害対策本部室に転用します。

区民の安全・安心を守るため、迅速に対応できる設備・機能を備え、災害対策の司令塔としての役割を果たします。

豊島区は、総務省消防庁の「住民への災害情報伝達手段の多様化実証実験」の対象自治体に選ばれました。平成24



年度から「防災情報伝達制御システム」を導入し、情報伝達手段の強化を図ります。



## 災害に強い新庁舎

免震装置や100年以上の耐久性を持つ超高強度コンクリートを導入し、関東大震災や東日本大震災級の大地震にも十分耐える設計です。

また、災害時、庁舎が災害対策本部として機能するよう、最低でも3日間対応できる非常用発電設備や耐震性の高いエレベーターを計画しています。

大地震にも耐える  
先端技術を導入した  
設計ですね!



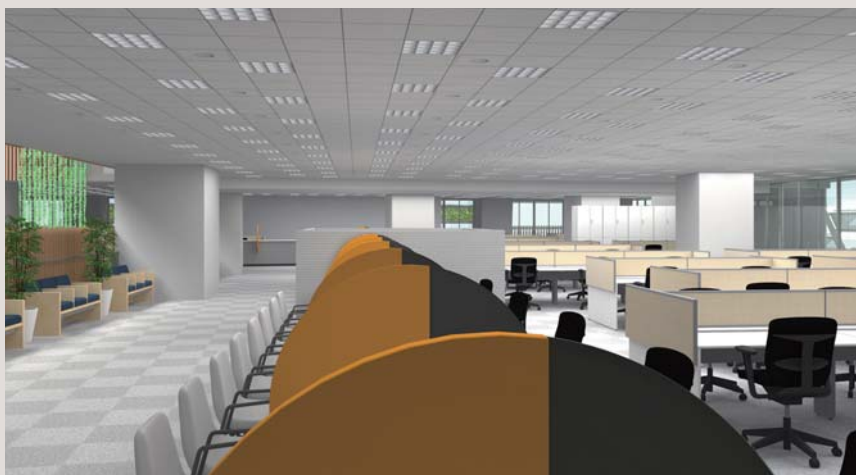
▲免震装置に組み込まれる積層ゴム

# 事務室ゾーン 5F 6F 7F 8F



見通しがよい執務空間は、  
コミュニケーションも取りやすそうですね!

一般の事務室スペースにおいても、来庁する区民のみなさんにわかりやすいよう、見通しのよい直線の廊下とするとともに、職員にとっても働きやすく、将来のレイアウト変更にも対応しやすいよう、柱のない整形な空間とします。



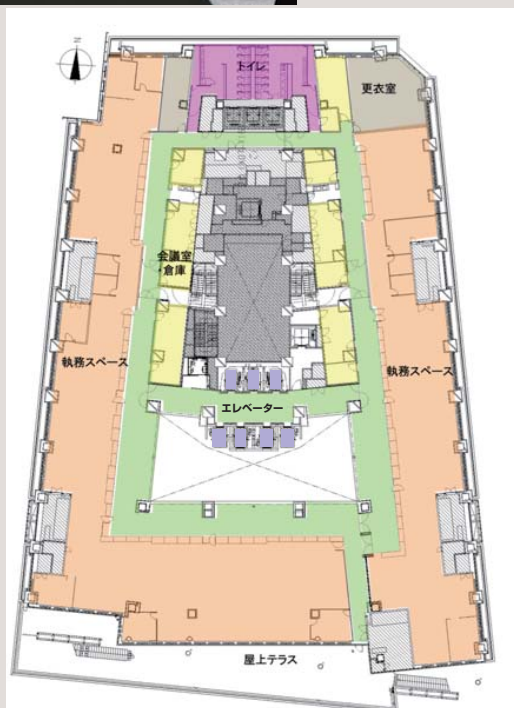
▲事務室のイメージ



## 事務室フロア

建物の中心部にエレベーターや会議室・倉庫を配置し、廊下をはさんで執務スペースを配置しています。

更衣室・トイレなどは、フロア北側へ集約します。



# 区議会ゾーン 8F 9F



区民のみなさんが快適に  
傍聴できますね!

議会の十分な審議、調査研究ができるよう、機能を充実させるとともに、区民により身近で開かれた議会を実現するため、議会施設の改善を図ります。現在、区議会に新庁舎議会施設検討会を設置し、更に詳細な議会施設の計画について、検討を行なっています。



▲議会開催中の議場のイメージ



## 議場

木の素材感を生かした落ち着いた雰囲気的设计です。本会議全体をより見やすくするため両側面に傍聴席を配置します。傍聴席への動線の改善やバリアフリー化を図っています。

議会が開かれていない時には、区民が参加する大きな会議や国際会議にも使用できる造りとなっています。

▼会議使用時のイメージ





# 環境対策を先導する新庁舎



建物全体が環境を考えた  
地球にやさしい設計ですね!

CO<sub>2</sub>排出量が30%以上も削減されます  
環境対策について、建物の設計者に語っていただきました

豊島区の掲げる「環境都市づくり」を象徴する「環境対策を先導する環境庁舎」をめざしました。区民に親しまれる緑豊かな環境を創りつつ、太陽光発電、自然採光、エコ照明、雨水利用による水循環システム、地域冷暖房システムの導入など、環境技術を積極的に取り入れています。その結果、従来の建物に比べ、庁舎部分でCO<sub>2</sub>排出量を30%以上抑えることができます。

株式会社 日本設計 六鹿 正治

## 豊島の森 屋上庭園(10F)



## エコミーゼ 外観(秋)



豊島区の優れた環境を、次世代につなぎ育むための場をつくるのが大切だと考えました。

地域の環境を象徴する広場や屋上は、自然環境や気象環境を緩和するだけでなく、貴重な生態系をつなぎ保全する「豊島の森」、「豊島エコミーゼ」として整備されます。施設の運営そのものが自然を取り入れた快適で健やかなライフスタイル実践の場となり、防災・健

康・環境などに軸足をおいた区民活動の拠点として、地域や家庭での取り組みを支援し、多様な自然とふれあえる憩いや学び場となることをめざしています。

「豊島エコミーゼ」から発信される小さなアクションが世界を動かす大きな変化につながっていく。それが私たちの提案に込めた願いです。

株式会社 ランドスケープ・プラス 平賀 達也



設計チームの英知を結集して、計画の推進に取り組んでいます。左から、高野豊島区長、隈研吾氏、六鹿正治氏、平賀達也氏。

## エコヴォイド 1F~9F吹き抜け空間

## エコヴェール 外観



### 新庁舎の設計の柱エコヴェール・エコヴォイド・エコミューゼ

樹木のような庁舎を考えました。樹木の木の葉のように建物を覆う、エコヴェールは多様な機能を持ち、新庁舎にふさわしい新しいシンボルとなります。エコヴェールを構成するパネルは、大きな建物をヒューマンスケールに分解して、街になじませます。また、池袋駅と新庁舎をつなぐグリーン大通りの多様な並木と呼応する外観デザインとすることで、都市と連続する景観をつくります。

エコヴェールと一体となって緑の都市景観をつくるエコミューゼでは屋上、テ

ラスに豊島の森を再現し、区民が自由に使えるスペースになります。

また、庁舎内部には自然採光と自然換気を可能にするエコヴォイドと名付けた大きな吹き抜けを設けています。

新しい庁舎は、区民サービスの向上はもちろん、都市景観や環境にも配慮した豊島区発展の起点になります。21世紀の庁舎のあり方にふさわしい環境庁舎として機能します。

隈 研吾

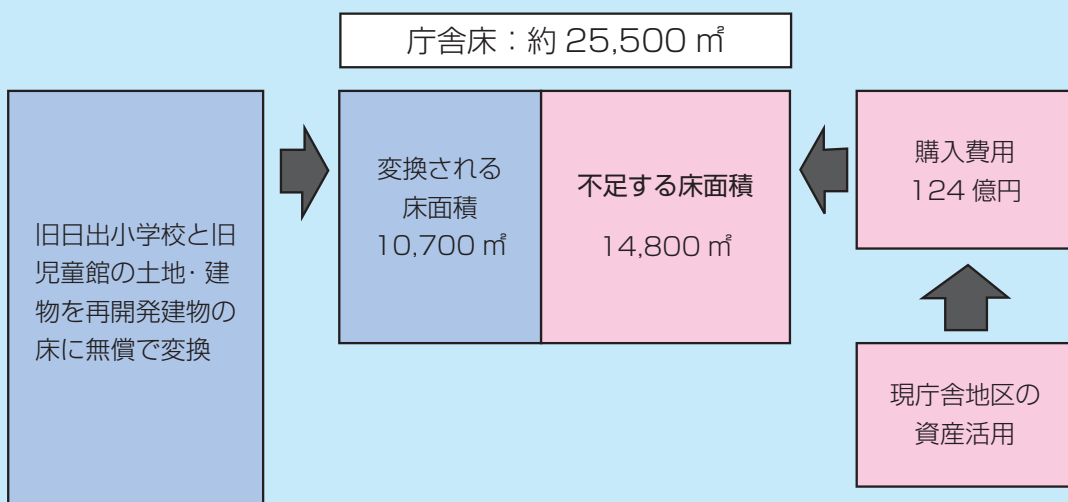
# 資金計画



区が所有する資産を活用し  
新たな借金をしない計画と  
なっています!

## 整備方法

市街地再開発事業では、旧日出小学校と旧南池袋児童館の土地と建物の財産が、再開発建物の床に変換され、庁舎に必要な専有面積、約 25,500 m<sup>2</sup>のうち、約 10,700 m<sup>2</sup>を無償で取得できます。不足する床、約 14,800 m<sup>2</sup>は、区が再開発組合から購入します。この購入資金を確保するために、現在の本庁舎敷地と公会堂・分庁舎敷地を定期借地権で民間に貸し付けます。



## 現庁舎地区の資産活用

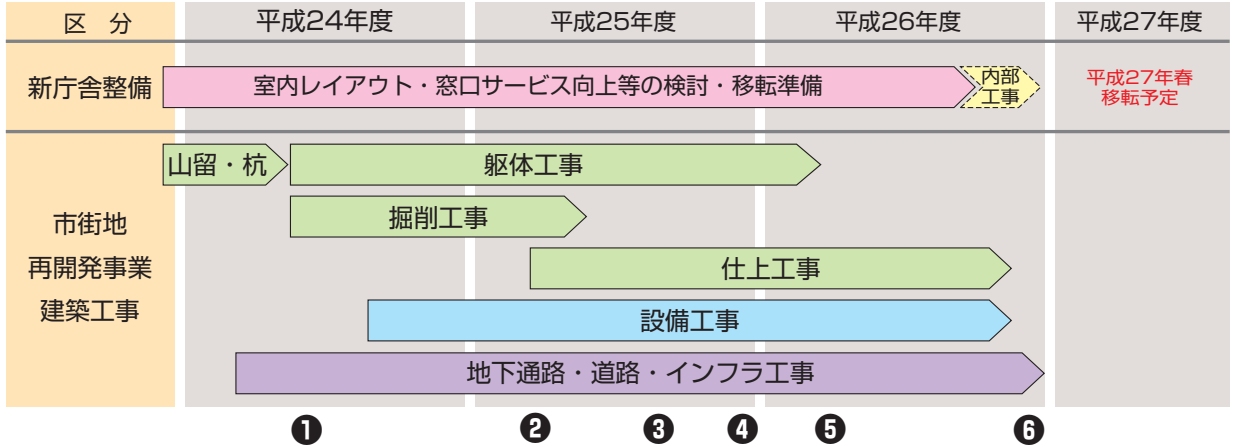
新庁舎への移転にあわせ、本庁舎敷地と公会堂・分庁舎敷地は、定期借地権で民間事業者に貸し付けます。その地代の一部を一括で受取り、新庁舎整備費に充当します。

新たな「公会堂」は、この民間ビルの中に整備する予定です。

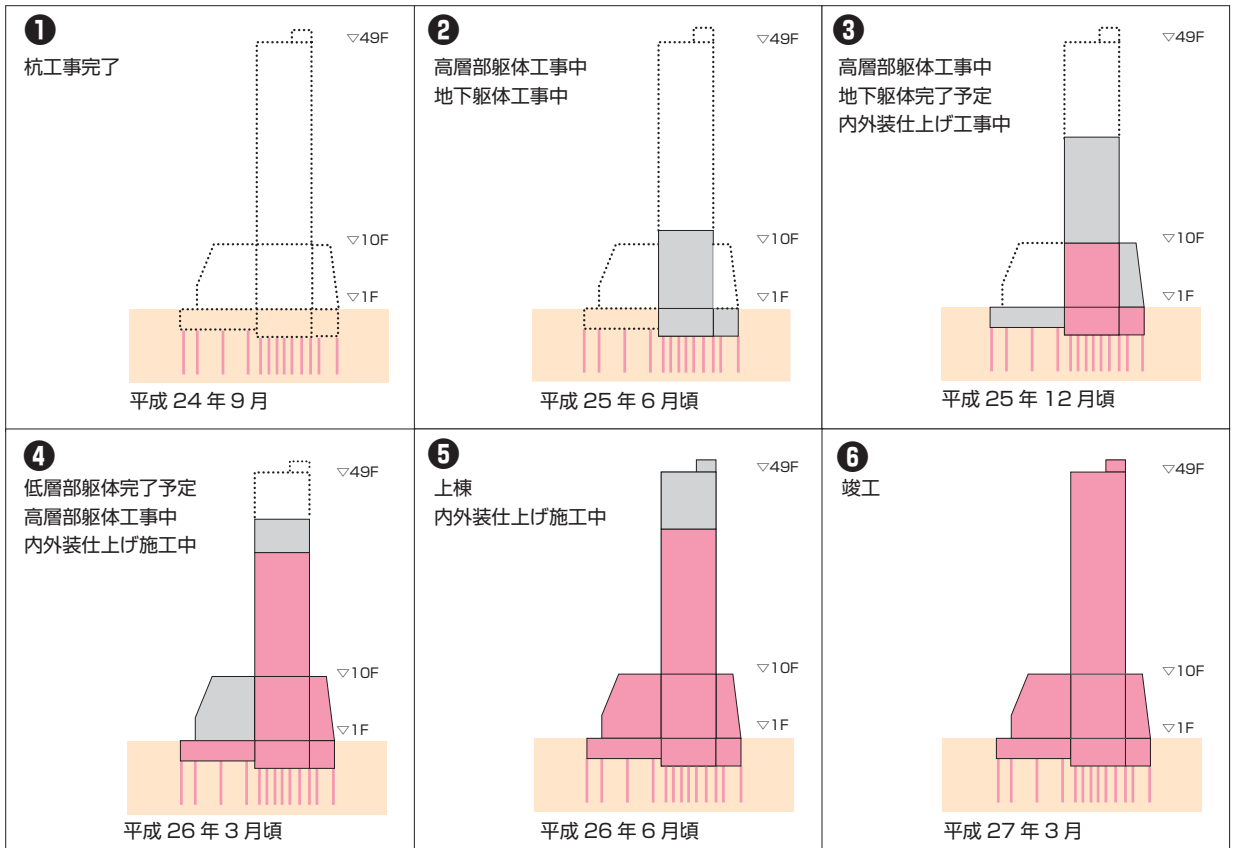




# 新庁舎移転までのスケジュール



南池袋二丁目 A 地区第一種市街地再開発事業 工事進捗予定図



◆新庁舎整備に関する資料は区のホームページにも掲載しています。  
<http://www.city.toshima.lg.jp/kusei/chosha/index.html>

2012 TOSHIMA CITY



セーフコミュニティ  
国際認証都市・豊島区



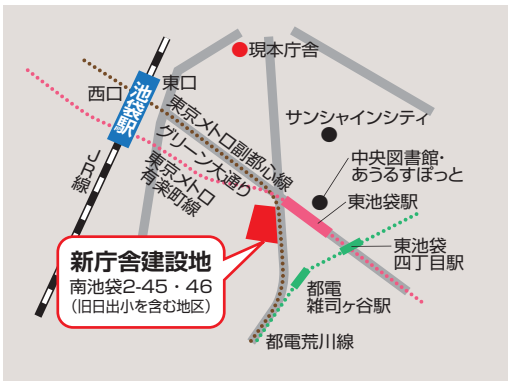
# 新庁舎 ウォッチング！ 定点観測



平成24年9月の  
進行状況です



◆新庁舎の位置



編集・発行：豊島区 庁舎建設室  
問合せ：TEL:03-3981-1111 (内線 2191)  
監修：株式会社日本設計  
隈研吾建築都市設計事務所  
株式会社ランドスケープ・プラス  
制作：株式会社タダ・デザイン  
平成24年10月発行